

主な論点（案）

（1）保育士養成課程等の見直しに関する事項

- ：社会情勢の変化や、保育所保育指針等の改訂の議論を踏まえ、保育士養成課程において修得すべき内容についてどのように考えるか。（観点例：少子化・核家族化・地方の過疎化、今後の保育士に必要となる専門的知識・技術）。
- ：保育士の質の確保・向上に向けて、養成課程について改善すべき点はあるか。（観点例：必修・選択科目の内容・単位数、実習の実施時期や期間・内容面における質の確保・現場の負担軽減、他の福祉系国家資格との単位互換・履修免除、DX や ICT の進展、養成課程とキャリアアップ研修等との棲み分け）
- ：幼稚園教諭免許状等の教職課程の見直しの議論も踏まえ、保育士養成課程においてどのような見直しが必要か。（観点例：修得内容（科目）の一層の整合性）

（2）保育士養成制度の課題に関する事項

- ：保育士の質向上と量的確保の両立をどのように目指すか。
- ：養成校（4年制大学、短期大学、専門学校等）、保育士試験、それぞれの持つ強みはどのようなものか。
- ：養成校への進学者や保育所等への就職者が増加するよう、保育士養成課程を修了することが誇りとなったり、保育士の魅力を向上させたりするためには、どのような方策が考えられるか。（観点例：養成校、自治体、保育士・保育所支援センター等の連携、児童養護施設等社会福祉分野での活躍）

（3）指定保育士養成施設の養成課程と保育士試験（地域限定保育士試験を含む）の試験問題との整合性に関する事項

（4）保育士等の研修に関する事項

- ：保育士等向けの各種研修をどのように体系的に整理していくか（観点例：養成課程とキャリアアップ研修等との棲み分け、キャリアラダー）
- ：研修の受講を促進するためにはどのような方策が必要か（観点例：保育現場を離れにくい保育士等に研修を受講してもらうための改善方策（代替職員の確保、オンライン・オンデマンドによる e-ラーニング研修等））